

わたしの「まちづくり提案」～皆様から届いた声～

今年度11月末までにお寄せいただいた提案の一部を要約してご紹介いたします。

○六角川の改修工事は、城下町の印象があり、景観を重視した市民の憩の場に最適だと思います。

出来た当初は、さすがと思いましたが現状はどうみても感心できません。

祭り前に、河川両側の土砂と雑草を当初の姿に戻して、綺麗な出来栄えを見物客にみてほしいと思います。

(本町 佐久間さん)

市からの返信

六角川改修工事は、災害防止だけでなく、「ふるさとの川」として親しみを持てる様な川づくりを目指し整備を図ってきました。

維持管理については、河川管理者である県、地元自治体の市および地域住民の皆さんとの三者で、協力し合いながら景観維持を図りたいと考えて合いをしているところです。また、今年はちょうど祭り前に、県と市で六角川の草刈作業を実施し、観光に訪れ

る皆さんをお迎えする予定です。ですので、ご理解とご協力をお願いいたします。

○無人で走っているバスが日中何本もあります。

乗車数等をきちんと調べて、

小さいバスにしたり、お年寄りにはタクシーカードを出すなど効率の良いやり方をしていただきたい。(郭内 匿名)

市からの返信

現在、市民が利用しやすく持続可能な公共交通となるよう交通体系の見直しを進めております。路線バスについても、実態調査やアンケート調査を行い、現状分析や課題の整理を行っています。

今般、交通事業者、住民代表等で構成する地域公共交通活性化協議会を設置し、具体的な協議を進めています。

○段階的に幼稚園の保育料を値上げすると広報に載つてい

ましたが、市町村合併で何でも高い方に基準をあわせると

いうのはおかしいと思います。もし、どうしても値上げしないとやつていけないならば、降園時間を繰り下げる検討をしていただきたいです。

(上川崎 菅野さん)

市からの返信

幼稚園保育料は、旧市町により金額が異なっていたため、合併協定の中で3年を目途に統一することとしており、負担の公平性を確保するため、幼稚園保育料を統一することにしたものです。

次に終了時間についてですが、幼稚園の教育時間は「幼稚園教育要領」により一日4時間が標準とされております。これは幼児の心身の負担を考慮して定められた時間です。開始時間が、地域実情等から午前8時に定着しており、午後1時の降園が妥当な時間となりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

また、今年はちょうど祭り前に、県と市で六角川の草刈作業を実施し、観光に訪れ

新しい晨あさ

（市長からの手紙）

三保恵一

「戒石銘」は、藩政の改革と綱紀の肅正のため、寛延二年（一七四九）に五代藩主丹羽高寛公が儒学者岩井田昨非の進言により、藩士の戒めとするため、二本松城の藩庁門前に刻ませたものであります。

「戒石銘」の精神は、二百年を経た今日においても公人たる者への戒律、行政の規範として、さらに教育的資料として高く評価されています。

「戒石銘」は、何時の時代にあっても不变であり、先人が残された偉大な遺産を風化させることなく、後世に継承すると共に広く顕彰してまいりたいと考えております。

さて、「戒石銘」の起源は、中国の孟子の作った「戒諭辭」であり、その研究の基礎となつたのは、東洋哲学の権威者、服部宇之吉博士が詳述した「旧二本松藩戒石銘説明書」であります。

服部博士は、一本松藩士の三男として生まれて、ま

もなく母が病没、二年後に父が戊辰戦争で戦死するという不幸が襲いました。叔父夫婦が引き取り、育てられ、貧しいながらも実直勤勉な養父母の理解もあり、漢学塾で学び、後に東京帝國大学（東京大学）、やハーバード大学教授、京城帝国大学初代総長。国学院大学学長などを歴任され、大正天皇への漢書御進講や昭和天皇に「二本松藩戒石銘」の御進講を行いました。

さらに「詳解漢和大辞典」や「漢文大系増補版」「ABC引き日本辞典」などを編纂するなど、教育と文化の振興に大きな業績を残されております。

「戒石銘」は、何時の時代にあっても不变であり、先人が残された偉大な遺産を風化させることなく、後世に継承すると共に広く顕彰してまいりたいと考えております。

そして、「戒石銘」の精神を大切に市民の「しあわせ」と二本松市の繁栄のために一身を捧げてまいります。

※（ ）内は、提案いただいた皆様の意向により、紹介させていただきました。